



Synology RackStation RS814

クイックインストールガイド

目次

第 1 章 : はじめる前に

パッケージの内容	3
Synology RackStation の概要	4
安全のしおり	5

第 2 章 : ハードウェアの設定

ハードディスク取り付け用のツールと部品	6
ハードディスクの取り付け	6
RackStation の起動	8

第 3 章 : DSM を RackStation に装着する

Web Assistant を使って DSM をインストールする	9
インストールディスクから DSM をインストールする	10
Windows の場合	10
Mac OS X の場合	12
Linux の場合	12
詳細情報	14

付録 A : 仕様

付録 B : LED 状態表

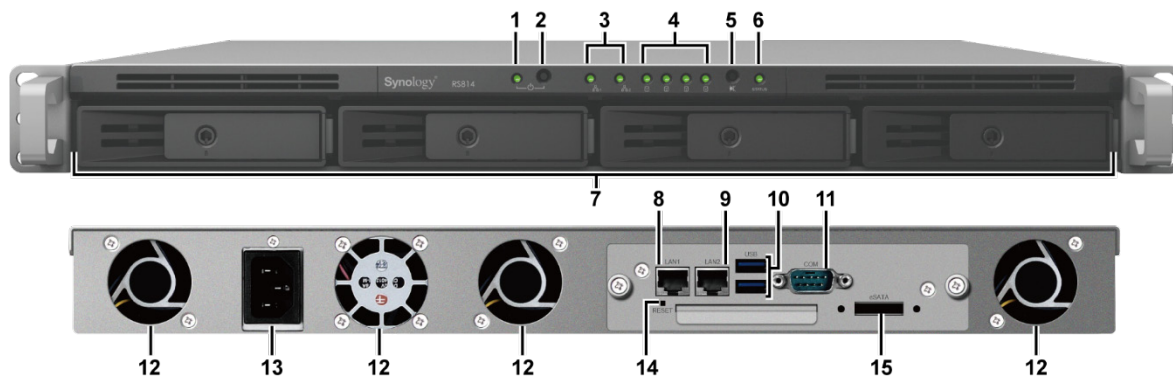
はじめる前に

Synology 製品をご利用いただきありがとうございます。RackStation の設定を始める前に、次のアイテムがパッケージに含まれていることを確認してください。また、ケガや RackStation の故障を避けるために、安全のしおりを最後までよくお読みください。

パッケージの内容

本体 1 台			AC 電源ケーブル 1 本
			
			インストールディスク 1 枚
			
			ラックマウントキット 2 個
			
(3.5 インチ) ハードドライブ用ネジ 20 個	(2.5 インチ) ハードドライブ用ネジ 20 個	ラック取り付け用 キットナット 5 個	ハードドライブトレイキー 2 個
			

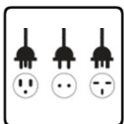
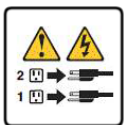
Synology RackStation の概要



番号	部品名	位置	説明
1)	電源インジケータ	フロントパネル	RackStation の電源状態を表示します。詳しくは、「付録 B : LED 状態表」を参照してください。
2)	電源ボタン		1.RackStation の電源を入れます。 2.RackStation の電源を切るには、警告音が鳴り電源インジケータが点滅するまで押し続けます。
3)	LAN インジケータ		LAN 1 と LAN 2 のネットワーク状態が表示されます。詳細は、「付録 B : LED 状態表」を参照してください。
4)	ディスクインジケータ		内部ディスクの状態が表示されます。詳しくは、「付録 B : LED 状態表」を参照してください。
5)	警告音停止ボタン		故障発生時の警告音を消します。
6)	状態インジケータ		システムの状態を表示します。詳しくは、「付録 B : LED 状態表」を参照してください。
7)	ハードドライブトレイ		ここにハードディスクを装着します。
8)	LAN 1	バックパネル	RJ-45 LAN ケーブルを Synology RackStation に接続します。
9)	LAN 2		
10)	USB 3.0 ポート		外部ハードドライブ、USB プリンタ、その他の USB デバイスを Synology RackStation に接続します。
11)	コンソールポート		このポートは製造段階でのみ使用します。
12)	ファン		熱を排気してシステムを冷却します。ファンが故障していると、RackStation から警告音が発せられます。
13)	電源ポート		電源コードを接続して RackStation に電源を供給します。
14)	RESET ボタン		1.警告音が聞こえるまで押し続けると、 administrators グループに属するユーザーのデフォルトの IP アドレス、DNS サーバー、パスワードを復元します。 2.警告音が聞こえるまで押し続け、さらに 3 回警告音が聞こえるまで再び押し続けると、DiskStation Manager が RackStation を再インストールできるように、RackStation が「インストールされていない」状態に戻されます。
15)	eSATA ポート		外部 SATA ディスク、または Synology 拡張ユニットを ¹ Synology RackStation に接続します。

¹ ご使用の RackStation に対応する Synology 拡張ユニットについては、www.synology.com を参照してください。

安全のしおり

	製品は直射日光から避け、化学薬品の近くに置かないでください。温度や湿度が急激に変化する環境は避けてください。
	製品は常に正しい方向に設置してください。
	液体を近くに置かないでください。
	お手入れの際は、必ず電源コードを先に抜いてください。湿ったペーパータオルで拭いてください。化学クレンザーやエアゾールはご使用にならないでください。
	ユニットが倒れる可能性があるため、カートや不安定な場所に設置しないでください。
	電源コードは適切な電圧に差し込んでください。AC 電圧の供給が正しく安定していることを確認してください。
	デバイスへの電力供給を完全に停止するには、電源からすべての電源コードを外してください。
	指定されたタイプ以外のバッテリーを使用すると、爆発する危険性があります。使用済みバッテリーは規則に従って正しく処理してください。

ハードウェアの設定

ハードディスク取り付け用のツールと部品

- ドライバ
- SATA ハードディスク（3.5 または 2.5 インチ）1 台以上
（ハードディスクの互換性については www.synology.com を参照してください。）

警告： データが保存されているハードディスクを取り付けると、システムはハードディスクを初期化してすべてのデータを消去します。将来そのデータが必要である場合は、インストールする前に必ずバックアップを行ってください。

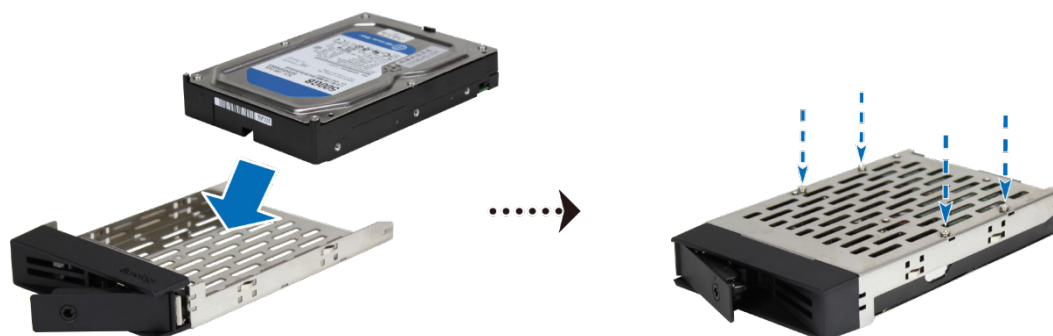
ハードディスクの取り付け

- 1 ハードドライブトレイの取っ手を以下に示した方向に引いて、ハードドライブトレイを取り外します。



- 2 ハードディスクをハードドライブトレイに配置したら、トレイを裏返して、ネジを締めてハードディスクを固定します。

- 3.5 インチハードディスクの場合：



- 2.5 インチハードディスクの場合：



- 3 ロードしたハードドライブトレイを空のハードドライブベイに挿入します。



重要: トレイが奥までしっかり押し込まれているか確認してください。これを怠ると、システムは適切に動作しないことがあります。

- 4 フラッシュハンドルをフロントパネルで押して、ハードドライブトレイを所定の個所に設置します。
5 ハードドライブトレイ用キーをハードドライブトレイロックに挿入して、キーを時計回りに回してハードドライブトレイのハンドルをロックし、キーを外します。



- 6 上記手順を繰り返して準備したすべてのハードディスクを組み立てます。
7 提供されているナットで、両サイドに2つのラックマウントを固定します。



- 8 ディスクのポジションは以下に示すように番号付けられています。



注: RAID 一式を設定する場合は、取り付けたすべてのハードディスクを同じサイズにして、ハードディスク容量を最も有効に使えるようにしてください。

RackStation の起動

- 1 電源コードの端を RackStation の電源ポートに接続し、もう片方をコンセントに差し込みます。
- 2 LAN ケーブルを使用して RackStation をスイッチ/ルーター/ハブに接続します。



- 3 電源ボタンを押して、RackStation の電源を入れます。



RackStation は、オンラインとなり、ネットワークコンピュータから検知されます。

DSM を RackStation に装着する

ハードウェアの設定が完了したら、Synology NAS 向けに設計されたブラウザベースのオペレーティングシステム、DiskStation Manager (DSM) をインストールします。

ウェブブラウザから DSM をインストールするには、Synology の **Web Assistant** をご利用くださるよう強くお勧めします。Synology Web Assistant は、インターネットから最新のソフトウェアアップデートを自動的にダウンロードし、インストールの手順を説明してくれます。パソコンを使って DSM をインストールする場合は、RackStation に含まれるインストールディスクに格納された Synology Assistant もお使い頂けます。

Web Assistant を使って DSM をインストールする

RackStation には、DSM の設定とインストールを補助してくれる、**Web Assistant** というツールが内蔵されています。Web Assistant を使用するには、次の手順に従ってください。

- 1 RackStation の電源を入れます。
- 2 RackStation と同じネットワークにあるコンピュータでウェブブラウザを開きます。
- 3 ブラウザのアドレスバーに次のいずれかを入力してください。
 - a find.synology.com
 - b rackstation:5000
- 4 使用するウェブブラウザで Web Assistant が起動します。これは LAN 内の RackStation を検索、検出します。RackStation の状態は**[未インストール]**になっているはずです。



- 5 **[接続]**をクリックすると設定が開始されますので、画面の指示に従ってください。

注：

1. 推奨するブラウザ：Chrome、Firefox。
2. RackStation とコンピュータはどちらも同じローカルネットワーク上になければなりません。
3. Web Assistant で DSM をインストールするには、RackStation をインターネットに接続する必要があります。

インストールディスクから DSM をインストールする

付属のインストールディスクから DSM をインストールしたい場合、あるいは Web Assistant でうまくインストールできない場合は、デスクトップのユーティリティ、**Synology Assistant** を使ってインストールすることもできます。次の Windows、Mac、Linux 用のセクションをお読みください。

Windows の場合

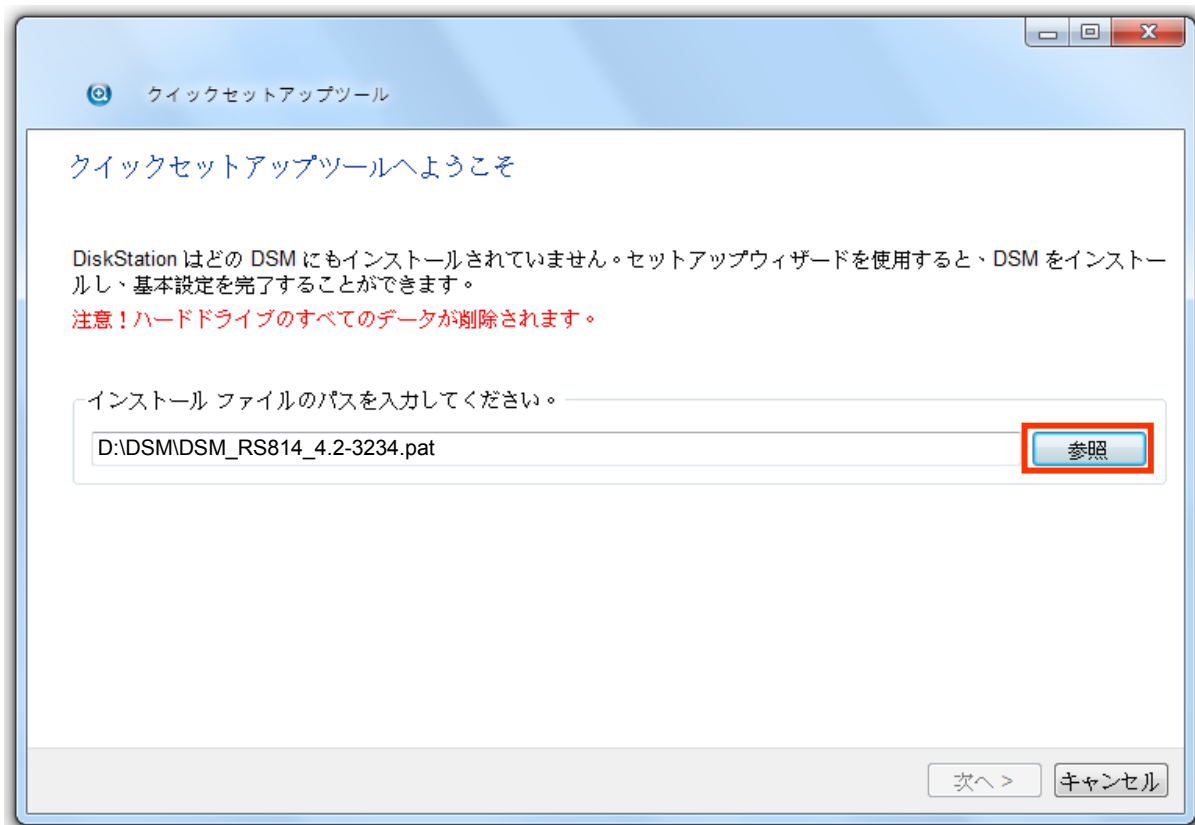
- 1 コンピュータにインストール用ディスクを挿入し、**[起動]**をクリックします。画面上の説明に従ってセットアップ処理を行います。



- 2 Synology Assistant がコンピュータにインストールされ、起動されます。これは LAN 内の RackStation を検索して見つけます。RackStation のステータスは**未インストール**になっているはずです。RackStation をダブルクリックしてセットアップ処理を開始します。

管理							Synology
検索 接続 マウント WOLの設定							設定 ヘルプ 情報
サーバー名	IP アドレス	IPステータス	ステータス	MACアドレス	バージョン	モデル	
DiskStation	192.168.22.210	Manual	準備完了	00:11:32:02:F1:89	4.0-2198	DS410	
DiskStation	192.168.21.79	DHCP	準備完了	00:11:32:03:75:FD	3.1-1636	DS207+	
DiskStation	192.168.21.45	Manual	準備完了	00:11:32:05:E5:6F	4.1-2518	DS1010+	
RackStation	192.168.16.84	Manual	未インストール	00:11:32:05:E7:EE	4.2-3234	RS814	

- 3 **[参照]**をクリックして、インストールディスクの **DSM** フォルダで **DSM_[モデル名]_[番号].pat** を探します。
また **Synology ダウンロードセンター**から最新版の DSM をダウンロードすることも可能です。



- 4 画面上の説明に従ってセットアップ処理を行います。

インストールが完了したら、Synology DiskStation Manager (DSM) を使って RackStation を管理できるようになります。DSM で RackStation を管理する方法については、**Synology ダウンロードセンター**で取得可能な Synology NAS ユーザーガイドを参照してください。

Mac OS X の場合

- 1 使用するコンピュータにインストール用ディスクを挿入したら、デスクトップ上の[SynologyInstall]アイコンをダブルクリックします。



- 2 表示されたウィンドウで、[MacOSX]フォルダをダブルクリックし、**Synology Assistant-[番号].dmg** をダブルクリックします。



- 3 表示されるウィンドウの[Synology Assistant.app]をダブルクリックします。



Synology Assistant.app

- 4 「Windows からのインストール」セクションのステップ 2 から 4 に従ってセットアップを完了します。

Linux の場合

Linux 用は、Ubuntu バージョン 8 および 9 用に最適化されています。コマンドラインまたは GUI を使って、別のバージョンにインストールすることは可能です（評価目的に限る）。

コマンドラインからインストールする場合：

インストール用ディスク Linux フォルダから **install.sh** スクリプトを実行します。これにより、以下の手順を手引きします。

- 1 Synology Assistant のベータ版を削除します。（存在する場合）

```
sudo rm -rf /usr/local/Synology /usr/local/bin/SynologyAssistant
```

- 2 **SynologyAssistant-[番号].tar.gz** を「/usr/local」または「./」など、指定のディレクトリに解凍します。

```
tar -C ./ -zxvf SynologyAssistant-[番号].tar.gz
```

- 3 64bit Ubuntu を使う場合は、32bit ライブラリをインストールします。

```
sudo apt-get install ia32-libs
```

- 4 ショートカットを/usr/local/bin に作成します。

```
sudo ln -sf /path/install/SynologyAssistant/SynologyAssistant \
/usr/local/bin/SynologyAssistant
```

- 5 Synology Assistant の実行には、以下のいずれかのコマンドが使用できます。

```
/path/install/SynologyAssistant/SynologyAssistant
```

または、次のショートカットを実行

```
/usr/local/bin/SynologyAssistant
```

`/usr/local/bin` が環境変数 `$PATH` に存在する場合は、以下を入力します。

```
SynologyAssistant
```

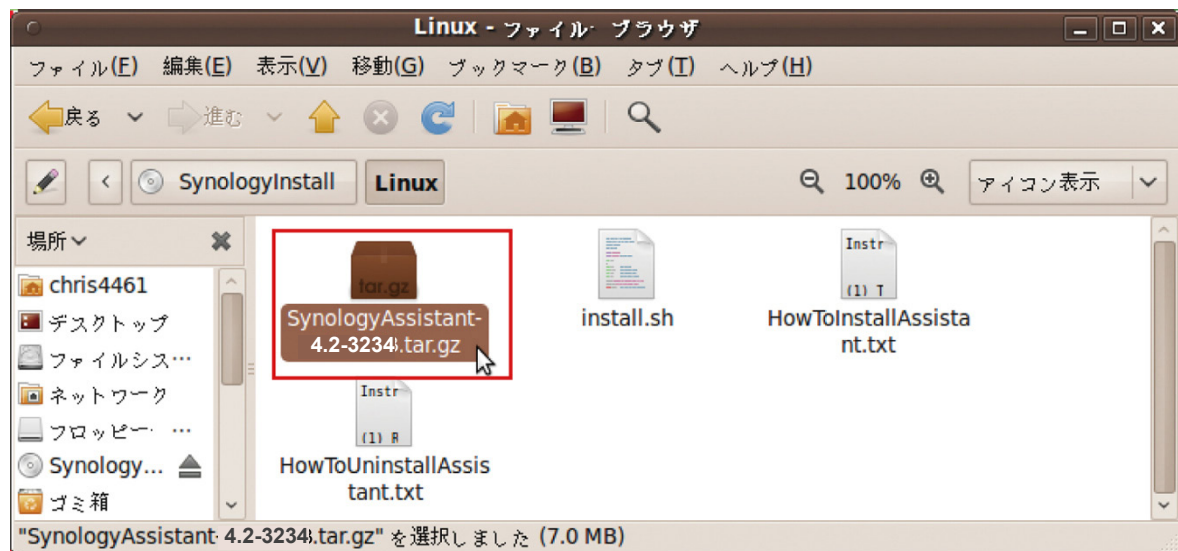
GUI を使用してインストールする場合：

- 1 `/usr/local` および `/usr/local/bin` に移動して、次のフォルダ（存在するもの）を削除します。
Synology、SynologyAssistant
- 2 使用するコンピュータにインストール用ディスクを挿入したら、デスクトップ上の[SynologyInstall]アイコンをダブルクリックします。

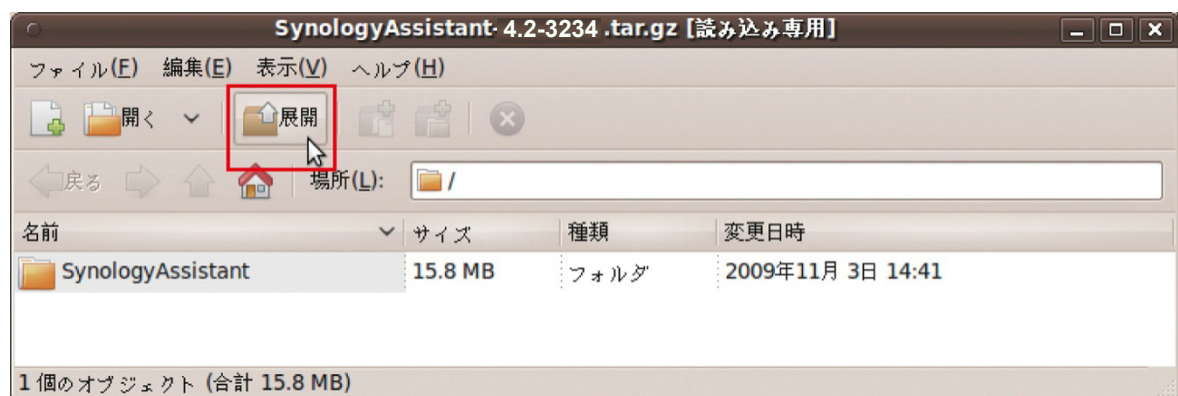


SynologyInstall

- 3 表示されるファイルブラウザウィンドウで、[Linux]フォルダをダブルクリックし、[Synology Assistant-[番号].tar.gz]をダブルクリックします。



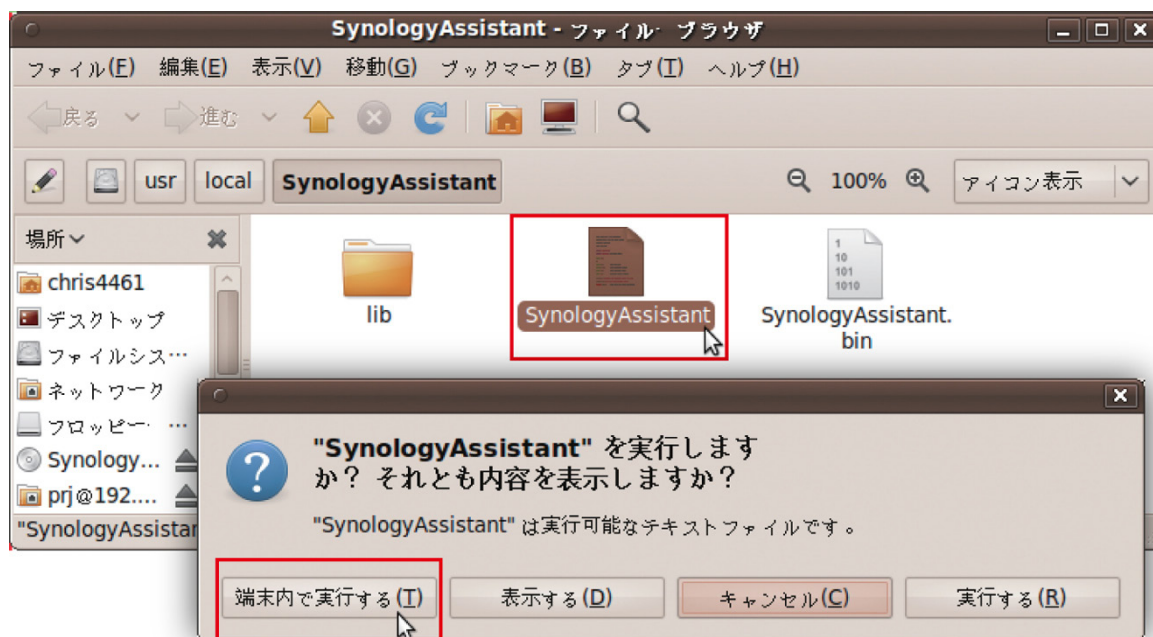
- 4 [展開]をクリックして、SynologyAssistant ディレクトリを `/usr/local` またはその他のパスに解凍します。



重要: 64bit Ubuntu を使う場合は、処理を行う前に、必ず 32bit ライブラリをインストールしてください。インストールするには、端末に以下のコマンドを入力します:

```
sudo apt-get install ia32-libs
```

- 5 /usr/local/SynologyAssistant (または[the path you just specified]/SynologyAssistant) のパスに移動して、[SynologyAssistant]をダブルクリックしてから、表示されるダイアログボックスで**端末内で実行する**を選択します。



DSM を RackStation にインストールする

Synology Assistant を起動したら、「Windows の場合」のステップ 2 から 4 に従ってセットアップを完了します。

詳細情報

完了しました。RackStation の設定が完了しました。詳細設定に関しては、インストール用ディスクに含まれているユーザーガイドを参照してください。RackStation に関する詳しい情報やオンラインリソースについては、www.synology.com を参照してください。

仕様

アイテム	RS814
内蔵ハードディスク	3.5 インチまたは 2.5 インチ SATA (II) x 4
最大容量	16TB (4TB ハードドライブ x 4)
ホットスワップ HDD	はい
外付けハードディスクインターフェイス	USB 3.0 x 2 eSATA x 1
LAN ポート	ギガビット x 2
外寸 (H x W x D) (mm)	44 x 430.5 x 457.5
重量 (Kg)	6.37
対応クライアント	・ Windows XP 以降 ・ Mac OS X 10.5 以降 ・ Ubuntu 9.04 以降
最大ユーザーアカウント数	2048
最大グループアカウント数	256
最大共有フォルダ数	256
最大同時接続数	256
IP カメラによる最大サポート数	16
ファイルシステム	・ EXT4 ・ EXT3、FAT、NTFS (外部ディスクのみ)
ボリュームタイプ	・ Basic ・ JBOD ・ RAID 0 ・ RAID 1 ・ RAID 5 ・ RAID 5+Spare ・ RAID 6 ・ RAID 10 ・ Synology Hybrid RAID (1-ディスクフォールトトレランス、2-ディスクフォールトトレランス)
認定機関の認可	・ FCC Class A ・ CE Class A ・ BSMI Class A
HDD ハイバネーション	はい
電源オン/オフ予約機能	はい
Wake on LAN/WAN	はい
ローカライゼーションの言語	・ English ・ Deutsch ・ Français ・ Italiano ・ Español ・ Dansk ・ Norsk ・ Svensk ・ Nederlands ・ Русский ・ Polski ・ Magyar ・ Português do Brasil ・ PortuguêsEuropeu ・ Türkçe ・ Český ・ 日本語 ・ 한국어 ・ 繁體中文 ・ 简体中文
環境条件	・ ライン電圧：100V から 240V AC ・ 実行頻度：50/60Hz ・ 運用温度：40 ~ 95°F (5 ~ 35°C) ・ 保管温度：15 ~ 155°F (-10 ~ 70°C) ・ 相対湿度：5% ~ 95% RH ・ 最大動作高度：6,500 フィート (2,000 メートル)

※ モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については、www.synology.com をご覧ください。

LED 状態表

LED インジケータ	色	状態	説明
STATUS	緑	点灯	ボリューム正常
	オレンジ	点灯	使用可能な空き容量 < 1GB または < 1 %
		点滅	ディスクがクラッシュしました/ボリュームが劣化またはクラッシュしました
	オフ		ボリュームなし
LAN (1~2)	緑	点灯	HDD ハイバネーション
		点滅	ネットワーク接続済み
	オフ		ネットワーク接続中
ディスク (1~4)	緑	点灯	ネットワークなし
		点滅	ディスク使用可能 (アイドル状態)
	オレンジ	点灯	ディスクにアクセス中
		点滅	読み取り/書き込みができません
電源	オフ		内蔵ディスクなし
	緑	点灯	電源オン
		点滅	起動中
		点滅	シャットダウン中
	オフ		電源オフ

注: モデルの仕様は予告なしに変更されることがあります。最新情報については、www.synology.com をご覧ください。

SYNOLOGY, INC.
エンドユーザー用の使用許諾契約

必ずお読みください：このエンドユーザー用の使用許諾契約書（EULA）は、あなた（1人の個人または1つの団体のいずれか）と SYNOLOGY, INC. および SYNOLOGY AMERICAN CORP および SYNOLOGY UK LTD. を含むその関係会社（総称して「SYNOLOGY」という）の間で、[WWW.SYNOLOGY.COM](http://www.synology.com) からダウンロード可能な、あるいはSYNOLOGY 製品（以下、「製品」という）に付属またはインストールされた SYNOLOGY ソフトウェアおよびその他の関連するファームウェア、媒体、説明書、および「オンライン」または電子ドキュメント（総称して「ソフトウェア」という）について交わされる法的な契約書です。

あなたは、ソフトウェアを含むパッケージを開ける、SYNOLOGYによりプリインストールされていないソフトウェアをインストールする、またはプリインストールされたソフトウェアに含まれた製品を使用することにより、本書の利用規約に従うことに同意したと見なされます。本書の利用規約に同意しない場合は、製品の梱包を開けない、ソフトウェアをインストールしない、ソフトウェアを含む製品を使用してはいけません。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

第1条. 条件付きソフトウェアライセンス。 本書の利用規約に従い、Synologyは、ユーザーに、製品の許可された使用に関して、製品ソフトウェアをインストール、実行、使用するための限定付き、非独占的、譲渡不可の個人用ライセンスを許可します。

第2条. 文書。 ソフトウェアに付属のいかなる文書も適度な枚数の複製を作成して使用することができます。その複製は、社内使用に限り、第三機関に対して再発行または再配布（ハードコピーまたは電子コピーのいずれの形式においても）してはけません。

第3条. バックアップ。 ユーザーは、バックアップおよび保管目的において適切な枚数のソフトウェアの複製を作成することができます。

第4条. 更新。 元のソフトウェアを更新するまたは補足するために Synology が提供するまたは Synology のウェブサイト（www.synology.com）（以降、「ウェブサイト」という）で利用可能なソフトウェアは、その更新または補足に対して別のライセンス契約が提供される場合を除き、本書に準拠します。別のライセンス契約が提供される場合は、それに準拠します。

第5条. ライセンス制限。 第1条で制定されるライセンスは、ユーザーが注文および購入した製品の定める範囲で適用され、そのソフトウェアに対するユーザーのすべての権利を提示します。Synologyは、本書において明確にユーザーに与えられていないすべての権限を保有します。前述の制限を無視して、ユーザーは第三者に対して以下の権限を与えるまたは許可してはいけません。(a) 製品に関する目的以外で本ソフトウェアを使用すること、(b) 本ソフトウェアの使用許可、配布、リース、レンタル、転写、譲渡、その他の処理、または商業目的でホストされる、またはサービスを提供する環境において本ソフトウェアを使用すること、(c) 本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、または本ソフトウェアのソースコードまたは機密情報を得るための試みを行うこと、ただし、この制限に関わらず準拠法によりそのような行動が明確に許可されている場合は除く、(d) ソフトウェアの派生物を採用、修正、改造、翻訳、または作成すること、(e) 製品の著作権表示またはその他の所有権表示を取り除く、修正する、隠すこと、(f) 製品またはソフトウェアのコンポーネント、特徴、機能へのアクセスを Synology が管理するために使用するあらゆる方法を回避、または回避しようとすること。

第6条. オープンソース。 本ソフトウェアには、GNU General Public License ("GPL Components")（<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> 参照）の下で Synology にライセンス許可が与えられているコンポーネントが含まれる場合があります。GPLの条件は、本書の内容が GPL コンポーネントの使用に関して GPL の要件と衝突する場合に GPL コンポーネントに対してのみ適用され、そのよ

うな場合、ユーザーは該当コンポーネントの使用について GPL に準拠することに同意するものとします。

第7条. 監査。 Synology は、本書の利用規約に関するユーザーのコンプライアンスを監査する権利を有します。ユーザーは、Synology に、施設、設備、帳簿と記録、文書へのアクセスを許可し、Synology の監査を促進させるために適切な協力を行うことに同意します。

第8条. 所有権。 本ソフトウェアは、Synology およびライセンス契約者の価値のある資産であり、著作権法およびその他の知的財産法および条約で保護されています。Synology またはそのライセンス契約者は、本ソフトウェアが持つ、および対するすべての権利および権限を保有し、本ソフトウェアのすべての著作権およびその他の知的所有権を保有します。

第9条. 制限付き保証。 Synology は、プレインストールされているソフトウェアを除く製品のソフトウェアをインストール、またはプレインストールされているソフトウェアを使用してから 90 日間に限り、規定（「保証期間」）に従って保証しています。本ソフトウェアは、ソフトウェアに対して Synology が公開、またはウェブサイトで制定する仕様に準拠します。Synology は、商取引上の合理的な方法で、Synology 独自の決断により、ソフトウェアの不具合を修正する、または前述の保証に準拠しないソフトウェアを交換する、のいずれかを行います。ただし、この場合、保証期間内にユーザーが Synology に対して不具合を書面にて通知する必要があるとします。前述の保証は、以下を起因とする不具合には適用されません。(w) 本書に従って使用、複製、配布、公開しない場合、(x) Synology 以外の者によるソフトウェアのカスタマイズ、修正、その他の改造が行われた場合、(y) Synology 以外の者により提供された製品、サービス、またはその他の事柄とソフトウェアを併用した場合、または (z) 本書の規定に従わない場合。

第10条. サポート。 保証期間中、Synology は、ユーザーにサポートサービスを提供します。保証期間後のソフトウェアに対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

第11条. 保証の放棄。 明確に前述されている場合を除き、SYNOLOGY およびそのサプライヤーはソフトウェアを「現状のまま」、一切を購入者の責任で提供します。SYNOLOGY およびそのサプライヤーは、本書において、明示的または暗示的に関わらず、法的、法律またはその他の方法により生じる、市販性、特定目的または使用との適合性、本ソフトウェアに関する権利を侵害していないことを含みそれに限定されないその他のすべての保証を放棄します。上述の制限を除いて、SYNOLOGY は、本ソフトウェアにバグ、エラー、ウィルス、その他の不具合が生じないことを保証しません。

第12条. 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのライセンサーは、ソフトウェアの使用または使用し

ないこと、または本書に規定される、または本書に関連して発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

第 13 条. 責任の制限。 本ソフトウェアの使用、または使用できないことから生じる、または関連する、または本書または本ソフトウェアに記載される、または関連する SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の保証の放棄、特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本書に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がユーザーに適用されない場合があります。

第 14 条. 輸出規制。 本ソフトウェアは、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本ソフトウェアに適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

第 15 条. 米国政府の許認可権。 米国政府に提供されるすべてのソフトウェアには、本書に記述される商用使用権および制限事項が付与されています。本ソフトウェアをインストール、コピー、または使用することにより、米国政府は、FAR Part 12 の意義の範囲内で、本ソフトウェアが「商用コンピュータソフトウェア」または「商用コンピュータソフトウェアの説明書」であることに合意します。

第 16 条. 契約の終了。 その他の権利を侵害することなく、ユーザーが本書の利用規約に従わない場合は、Synology が本書の契約を終了する場合があります。その場合、ユーザーは本ソフトウェアの使用を止め、本ソフトウェアのすべてのコピーおよびそのすべてのコンポーネントを破棄する必要があります。

第 17 条. 譲渡。 ユーザーは、本書に記載されるユーザーの権利を第三者に移譲または譲渡してはいけません。前述の制約に違反するそのような移譲または譲渡は、無効です。

第 18 条. 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本書は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

第 19 条. 紛争の解決。 本ソフトウェアに関して、またはユーザーと Synology との関係について Synology が提供する

本保証、本ソフトウェアまたはサービスから生じるまたは関係するいかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、ユーザーと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取るようになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適切な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、あなたは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをあなたは理解していますが、あなたは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、この第 19 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。ユーザーが米国に住居しない場合、本条に記述される紛争の訴訟は、最終的に、R.O.C. 仲裁法および関連する執行機関の規則の手順に従って 3 人の仲裁者により仲裁解決されるものとします。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本書の条項への不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

第 20 条. 弁護士費用。 本書におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

第 21 条. 契約の分離。 本書に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本書の残りの部分は有効に存続します。

第 22 条. 完全合意。 本書は、本ソフトウェアおよび本書の対象物について Synology とユーザー間の完全合意を制定し、書面または口頭に関わらず、すべての事前および同時期の了解事項および合意に優先します。本書の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力がありません。

SYNOLOGY, INC. 制限付き製品保証

本限定保証（「保証」）は、SYNOLOGY AMERICA CORP AND SYNOLOGY UK LTD. を含む SYNOLOGY, INC. およびその関連会社（総称して「SYNOLOGY」という）の製品（以下に記載）に適用されます。ユーザーは、製品パッケージの開封あるいは製品の使用により、本保証の条件に拘束されることを承諾し、同意します。本保証の条件に同意しない場合は、製品を使用しないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返品し、販売店の返品規定に従って返金を求めてください。

第1条. 定義。 (a) 新製品：(1) 「カテゴリ I 製品」とは、Synology の製品モデル RS810+、RS810RP+、RX410 を示す。(2) 「カテゴリ II 製品」とは、Synology RS2414+、RS2414RP+、RS814、RS214、RS10613xs+、RS3413xs+、RS3412xs、RS3412RPxs、RS3411xs、RS3411RPxs、RS2212+、RS2212RP+、RS2211+、RS2211RP+、RS812+、RS812RP+、RS812、RS411、RS409RP+、RS409+、RS409、RS408-RP、RS408、RS407、RS212、DS3612xs、DS3611xs、DS2413+、DS2411+、DS1813+、DS1812+、DS1513+、DS1512+、DS1511+、DS1010+、DS713+、DS712+、DS710+、DS509+、DS508、RX1213sas、RX1211、RX1211RP、RX4、DX1211、DX513、DX510、DX5、VS240HD、RAM モジュール (1GB/2GB/4GB/8GB) です。(3) 「カテゴリ III 製品」とは、2008 年 3 月 1 日以降にお客さまが購入したその他のすべての Synology 製品モデルを示す。(4) 「カテゴリ IV 製品」とは、2008 年 2 月 29 日以前にお客さまが購入したその他のすべての Synology 製品モデルを示す。(b) 「モデルチェンジされた製品」とは、一新されたモデルでオンラインショップを通じて Synology が直接販売する Synology 製品を意味し、Synology ディストリビューターや正規販売店を含みません。(c) 「お客さま」とは、Synology または Synology の正規代理店および販売店から製品を購入した最初の個人または団体を示す。(d) 「オンラインショップ」とは、Synology または Synology の子会社が運営するオンラインショップを意味します。(e) 「製品」とは、新製品またはモデルチェンジされた製品、および Synology によって製品に搭載されたハードウェアおよび付属のドキュメンテーションを意味します。(f) 「ソフトウェア」とは、カスタマが購入した製品に付属する、カスタマがウェブサイトからダウンロードする、または Synology の製品にプリインストールされている Synology の保有するソフトウェアで、ファームウェア、関連する媒体、画像、アニメーション、動画、オーディオ、テキスト、ソフトウェアまたは製品に組み込まれるアプレット、および該当ソフトウェアのアップデートまたはアップグレードが含まれる。(g) 「保証期間」とはお客さまが製品を購入した日から始まり、(1) カテゴリ I 製品は 5 年間、(2) カテゴリ II 製品は 3 年間、(3) カテゴリ III 製品は 2 年間、(4) カテゴリ IV 製品は 1 年間とする。(5) 「現状のまま」販売される製品、またはオンラインショップで「保証なし」で販売される製品を除く、モデルチェンジ製品の日付から 90 日間です。(h) 「ウェブサイト」とは、www.synology.com に配置される Synology ウェブサイトを示す。

第2条. 制限付き保証と救済手段

2.1 制限付き保証。 第 2.7 条に従って、Synology は、保障期間中、各製品について (a) 製造上の材料不良がないこと、(b) 正常な使用において Synology の公開仕様に従って正しく機能することをカスタマに保証します。Synology は、製品付属のエンドユーザー用の使用許諾契約書（存在する場合）の条項に従ってソフトウェアを保証します。Synology は、「現状のまま」販売されるモデルチェンジされた製品、またはオンラインショップから「保証なし」で購入された製品については、保証を行いません。

2.2 製品の制限。 カスタマは、Synology に製品を登録して、ウェブサイトからカテゴリ I 製品、カテゴリ II 製品およびカテゴリ III 製品の製造日付を取得できます。ウェブサイトでは製品を登録しなくても、第 2.1 条で制定する保証の権利は

軽減されません。Synology は、カスタマが製品の製造日付を識別できないことに一切責任を負いません。

2.3 唯一の法的救済手段。 カスタマが以下に説明する方法で適切な保証期間内に第 2.1 条で制定する保証の不具合を通知した場合、Synology が該当する不具合を検証した後、Synology が独自の判断で以下を行います。第 2.4 条に従って製品の完全な返却が行われた後に、(a) 商業的に適切な方法で製品を修理する、または、(b) 不具合のない製品または部品と交換します。前述は、第 2.1 条の保証不履行または製品に対するその他の不具合または欠陥に対する Synology の完全な責任であり、カスタマの唯一かつ非排他的な救済手段です。カスタマは、製品の不具合に対する Synology の診断と検証を適切に支援しなければなりません。第 2.1 条に制定する保証に以下は含まれません。(1) ソフトウェアに関する保証、(2) カスタマの現場における製品の物理的な設置と取り外し、(3) カスタマの現場への訪問、(4) Synology および契約サービスプロバイダの通常営業時間（週末およびサービスプロバイダの休日を除く）以外に不具合部品の修理または交換に必要な労働時間、(5) 第三機関の設備またはソフトウェアで行う作業、(6) カスタマまたは第三機関が設置したハードディスクの保証、(7) ハードディスクの互換性保証。

2.4 返却。 第 2.3 条に従ってカスタマが返却する製品は、返却前に Synology から商品返却確認番号 (RMA) を取得し、Synology の現行の RMA 手順に従って返却しなければなりません。カスタマは、Synology 正規代理店または販売店に連絡して RMA の取得を依頼し、依頼時に購入の証明および製品のシリアル番号を提示する必要があります。保証請求の場合、本保証の対象とするため、カスタマは、第 2.4 条に従って製品を完全な状態で Synology に返却する必要があります。RMA 番号を取得せずに返却された製品、または分解された製品 (Synology の指示による場合は例外) は、受け取りを拒否され、カスタマの費用でカスタマに返送されます。RMA 番号を取得した製品は、必ず Synology から納品された状態に可能な限り近い状態で、Synology の指定する住所に、製品を十分保護できるよう梱包し、箱の外側の見える場所に RMA 番号を明記して、運賃前払いで返却してください。返却する品物が Synology に適切に配達されるまで、品物に対する保険および損失はカスタマの責任です。RMA 番号を取得した製品は、その RMA 番号を発行してから 15 日以内に必ず返送してください。

2.5 Synology による交換。 第 2.1 条に従って本保証で Synology が製品交換を選んだ場合は、Synology は、第 2.4 条に従って返品された不具合製品を受領後、その製品の保証に適合するか確認した上、自社負担で Synology の選択した配送方法により交換製品を発送します。交換製品は、新品または使用できる状態、元の製品の機能および性能と同程度の状態にあり、元の保証期間の残り期間またはカスタマに配送された日から 30 日間のいずれか長い方の期間保証されます。Synology が不具合と判断しなかった製品は、カスタマに返送されます。

2.6 サポート。 保証期間中、Synology は、カスタマにサポートサービスを提供します。保証期間後の製品に対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

2.7 例外。 前述の保証および保証義務は、(a) 製品仕様に指定または説明されていない方法によりインストールまた

は使用された製品、(b) Synology またはその代理店または任命者以外により修理、修正、改正が行われた製品、(c) 何らかの方法で誤用、悪用、損傷した製品、(d) 製品が意図するデザインハードウェアまたはソフトウェア以外で Synology が提供していない品物を使用した製品、(e) その他の方法で製品の仕様に準拠していない製品、および Synology の管理下でない原因に起因する不具合には適用されません。また、前述の保証は、(1) Synology が許可した場合以外にカスタマが製品を分解した場合、(2) Synology がカスタマに対して提供する修正、改正、強化、改善、その他の更新をカスタマが実施しない場合、(3) カスタマが第三者が提供する修正、改正、強化、改善、またはその他の更新を実施、インストールまたは使用した場合には無効になります。第 2.1 条に制定する保証は、カスタマが第三者に販売または譲渡すると終了します。

2.8 保証の放棄。 本書に制定する SYNOLOGY の保証、義務、責任、およびカスタマの救済手段は、非排他的かつ代用であり、明示または暗示に関わらず、法律またはその他の原因により生じる、以下を含みそれに限定されない本保証の下で提供される製品、ソフトウェア付属の文書、およびその他の品物またはサービスに関連して SYNOLOGY のその他のすべての保証、義務、責任およびカスタマの SYNOLOGY に対するその他の権利、主張、救済手段を放棄、譲渡、拒否します。(A) 市販性または特定目的または使用との適合性に対する暗示保証、(B) 履行の過程、取引の過程、または商慣習により生じる暗示保証、(C) 侵害または不正利用に対する請求、または (D) 不正行為（過失、厳格責任、製品責任またはその他の理論に基づくかどうかに関わらず）に対する請求。SYNOLOGY は、SYNOLOGY の製品に保管されたデータまたは情報が安全であり、データ消失の危険がないことを保証したり具体的に放棄したりしません。SYNOLOGY は、カスタマに製品に保管するデータをバックアップするなど、適切な対策を実施するよう勧めています。州/司法管轄区によっては、暗示保証の制限を許可しないため、上述の制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 3 条。責任の制限。

3.1 不可抗力。 適切に制御できない原因または条件（カスタマの作為または不作為を含みこれに限定しない）により本保証が定める義務の不履行または遅延が発生した場合、Synology は、本保証に対して一切責任を負わない、または本保証の違反または不履行と見なされません。

3.2 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのサプライヤは、製品、付属の文書またはソフトウェア、および本書に基づいて提供されるその他の品物またはサービスの使用または使用しないことにより発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

3.3 責任の制限。 本製品、付属の文書またはソフトウェア、および本保証に基づいて提供される品物またはサービスの使用、または使用できないことから生じる、SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本製品に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上

述の除外および制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 4 条。その他。

4.1 所有権。 本製品および製品付属のソフトウェアおよび説明書には、Synology および第三者サプライヤおよびライセンスの所有権および知的所有権が含まれています。Synology は、製品のすべての権利、権限、知的所有権を保有および保留します。製品、付属のソフトウェアまたは説明書、および本保証に基づいて提供されるその他の物品に含まれる、または対する権利、所有権または知的所有権は、本保証の下でカスタマに移譲されません。カスタマは、(a) Synology または Synology の正規代理店または販売店が提供するソフトウェアに付属する Synology エンドユーザー用の使用許諾契約書の利用規約に準拠し、(b) 製品またはそのコンポーネント、付属のソフトウェアをリバースエンジニアを試みる、またはその他の方法で Synology の知的所有権に不適切に回避、または違反してはいけません。

4.2 譲渡。 カスタマは、本書に基づく自身の権利を、直接、法律の運用または他の方法により、Synology から事前に書面による承諾を得ずに譲渡してはいけません。

4.3 追加条件なし。 本保証で明確に許可した場合を除き、他の当事者が発注書、領収書、承認書、確認書、通信、その他の方法で作成した本保証のあらゆる条項、条件、条項と衝突するその他の規定に対して、両当事者が制約される、当事者の片側が特別に対象となることはありません。ただし、各当事者が書面においてそのような条項に特別に同意している場合は除きます。また、本保証が製品に関連する当事者と締結した別の契約書の利用規約と衝突する場合、他の契約書が本保証の条項に優先されることを特別に言及している場合を除き、本保証が優先されます。

4.4 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本保証は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

4.5 紛争の解決。 本製品またはカスタマ間の関係に対して Synology が提供する本保証、製品またはサービスから生じる、または関連する、いかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとし、ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、カスタマと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとし、米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取ることになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、カスタマは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをカスタマは理解していますが、カスタマは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、条項 4.5 に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。米国以外のお客様の場合、紛争は R.O.C. 仲裁法および関連施行規則の手順に従って 3 人の中立調停者により実施される仲裁により、最終的な解決が行われます。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で

行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本保証の不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

4.6 弁護士費用。 本保証におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

4.7 輸出規制。 本製品は、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本製品に適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

4.8 契約の分離。 本保証に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本保証の残りの部分は有効に存続します。

4.9 完全合意。 本保証は、本件に関する Synology とお客様との間のすべての同意を制定し、あらゆるおよびすべての事前同意に優先します。本保証の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力はありません。

注意：英語版とその他の言語の説明に矛盾または不一致がある場合は、英語版を優先します。